



堇るたせあ

作クワリドルア イレイベ、スマイト

譯抄蓬孤

手書き

汝が葉に宿す思はや！

やさしき心、言はぬ憂苦！

うつろひも汝が唇に口つけぬ

汝春雨のまな少女。

うつろひし汝が唇に口つけぬ。

色も香も早や失せたれど――。

物言はぬ乾ける口よ

汝は似たりさも我胸の

死にて冷たき淋しみに、

汝が葉の如く萎めるに

うつろひし色に失せし香に。

されど露けき汝が花の

ゆかりの色を染めし時

小川のはとり汝をつみし

雪のかひなを偲びては

うつろひし汝が唇に口つけぬ

忘られて戀偲びては

うつろひし汝が唇に口つけぬ。

第七卷
第六號